

2015年3月

感謝・思いやり・我慢

2014年度、市民福祉講座3回目が終了しました。

「いろいろな施設、いったいいくらかかるの?」のテーマで、講師の特別養護老人ホームはまゆう苑課長、松谷法史氏による講座に、予定していた参加者を越え、資料が足りなくなる有様でした。

知りたかった介護保険サービスの受け方や介護保険施設の種類や特色を分かりやすく話されました。身体的・経済的などの状況で十人十色なので、ざっくりした数字でした。介護保険施設の種類や特色も話され、在宅サービスの紹介までして頂きました。



まとめとして印象に残っている事は

- ❖施設入居を考えると、実際に見学すること。環境・居室や構造だけでなく、職員の対応も是非…
- ❖介護保険サービスを考えると、何のサービスを使うかよりも、何に困っているか…具体的に伝える、そして、どうなりたいか…も…「その人の人生はその人が決める。」とても優しい松谷さんの人柄が会場を包んで下さいました。感謝でいっぱいです。



当日のアンケート集計ができました。受講生98名で回収率87.5%でとても良い回収率で、参加者に感謝します。

❖回答者の性別・年齢・住所

年齢	20代~30代	40代~50代	60代	70代	80代以上	計
男性	1	1	4	6	0	12
女性	0	4	17	29	8	58
計	1	5	21	35	8	70

*回答者の住所は、全員下関市内

❖本日の講演について

①内容がよく理解できとても参考になった	②大体理解でき、共感できた	③内容が少し分かりにくかった
32人(45.7%)	27人(38.6%)	5人(7.1%)

*無回答 0人 (8.6%)

❖講演についての感想から

40~50歳代女性 講演中に、スタッフが紙袋をガサガサさせる音やコインを落したり、こそこそ話がうるさい！講師が話している時にしないといけないことですか？11年目と会長さんは言っていますが、スタッフのレベルが低すぎます。うるさい！

感想の一部ですが、痛い所をつかれました。おおいに反省。
以前から私の頭を悩ませているのがスタッフや参加者の勝手気ままなおしゃべりです。
講演会とサロンでは目的が違いますが、ホーモイの毎月の活動の1つに「介護予防のためのサロン」があります。午前10時から14時まで。あいさつで始まり、●リズム体操 ●健康講話 ●筋力・脳カトレーニング ●お弁当 ●レクレーションと盛り沢山のプログラムです。毎回、参加者50名以上の方々が楽しんで、元気になってもらう為に開催しています。スタッフはボランティア、会員合わせて20名位です。介護予防が目的で始めた活動なので、「役割以外の時間は自分達も参加しよう！」の共通認識を持っているはずなのに、長く活動しているとお世話係りになって、あちらこちらでおしゃべりが絶えないのです。おしゃべりも元気の元ですが、TPOがありますよね。状況判断能力が衰えてきているのか・・・？私の指導力が欠けているのか・・・？などなど悩んでいます。

最近の高齢者はマナーの悪さも指摘されています。とかく若者を非難しがちですが、私達自身何歳になっても社会人としてどうあるべきかを考えていきたいものです。そのためにも、一人ひとりが『感謝・思いやり・我慢』を肝に銘じる必要があります。

“スタッフのレベルが低すぎます”と再び言われなかったためにも。
心しましょう！！

